

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年3月25日(2022.3.25)

【公開番号】特開2021-58454(P2021-58454A)

【公開日】令和3年4月15日(2021.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2021-018

【出願番号】特願2019-185204(P2019-185204)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 652

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月16日(2022.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【請求項1】

リールを有し、

スタートスイッチを有し、

ストップスイッチを有し、

ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能な所定の表示部を有し、

第1レジスタバンクと第2レジスタバンクとを有し、

ROM領域として、第1領域と第2領域とを有し、

第1レジスタバンクの所定のレジスタは、第1領域のプログラムで使用され、

第2レジスタバンクの所定のレジスタは、第2領域のプログラムで使用され、

ストップスイッチの操作によりリールを仮停止可能な所定の疑似遊技演出を実行可能とし

30

内部抽せんにより所定抽せん結果が決定された或る遊技において、所定の疑似遊技演出が終了した後に、所定の表示部にてストップスイッチの有利な操作態様を報知可能とすることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

40

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する(かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。)。

本発明は、

リール(31)を有し、

スタートスイッチ(41)を有し、

ストップスイッチ(42)を有し、

ストップスイッチの有利な操作態様を報知可能な所定の表示部(指示モニタ(獲得数表示LED78))を有し、

第1レジスタバンク(図373中、レジスタバンク0)と第2レジスタバンク(図373中、レジスタバンク1)とを有し、

50

R O M 領域として、第 1 領域（図 3 7 3 中、第 1 プログラム領域、第 1 データ領域）と第 2 領域（図 3 7 3 中、第 2 プログラム領域、第 2 データ領域）とを有し、

第 1 レジスタバンクの所定のレジスタ（たとえば A レジスタ）は、第 1 領域のプログラムで使用され、

第 2 レジスタバンクの所定のレジスタ（たとえば A レジスタ）は、第 2 領域のプログラムで使用され、

ストップスイッチの操作によりリールを仮停止可能な所定の疑似遊技演出を実行可能とし

内部抽せんにより所定抽せん結果が決定された（押し順ベルに当選した）或る遊技において、所定の疑似遊技演出が終了した後に、所定の表示部にてストップスイッチの有利な操作態様を報知可能とする（図 3 9 2）

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50